

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人 守末学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程	服装科	夜・通信	67	6	
	ファッションビジネス科	夜・通信	61	6	
	ファッションデザイン科	夜・通信	54	6	
専攻科	ファッションスペシャリスト科	夜・通信	41	3	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://miyagibunka.ac.jp/information/">https://miyagibunka.ac.jp/information/</a>
---------------------------------------------------------------------------------------------

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人 守末学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>(1) 学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。</p> <p>(2) 作成した授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経てから実施・公表。</p> <p>(3) 授業計画(シラバス)はホームページにも掲載。</p>	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>(1) 科目ごとに評価方法を設定。(課題提出、試験実施、授業態度、出席状況等)</p> <p>(2) 成績はすべて点数で評価する。</p> <p>(3) 60点以下は単位取得を認めない。ただし、出席日数や努力評価は上乘せ部分として加算する。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)  (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>第8条 授業科目の成績評価は、学年末において各学期末に行う試験、実習の成果履修状況等を総合的に勘案して行う。ただし出席時数が授業時数の3分の2に達しない者は、その課目について評価を受けることができない。</p> <p>上記に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法を学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p><a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a></p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>(1) 履修すべき教科の出席時数が法定時数以上であること。  (2) 履修すべき教科の学年末評点が「60点」以上であること。  (3) 履修すべき教科の出席時数が、本則に定める授業時数合計に対しは2/3以上であること。  ※交通機関の運休、遅れ、インフルエンザ、忌引きについては欠席扱いとしない。</p> <p>(4) 原則として既定の制作課題の100%の提出  ※100%に満たない場合、卒業判定会議において判定。  (5) 学納金完納が確認されていること。</p> <p>上記を学生並びに保護者に公表し、卒業認定会議において認定された者が卒業できる。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p><a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a></p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	宮城文化服装専門学校
設置者名	学校法人 守末学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ上に公表 <a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a>
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	服装科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62	10	3	3	70	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		26人	0人	1人	10人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画（シラバス）を作成。 （2）授業計画（シラバス）をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順（総得点による降順）に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
（概要）学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業（進級）の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業（進級）認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
（概要）（1）クラス担任制（2）個別相談・指導等の対応（担任・学年・校長等カウンセリング）（4）個別相談（5）中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 (100%)	1人 (%)	2人 (%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 販売職・パタンナー			
（就職指導内容） (1) 求人案内 (2) 個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 洋裁技術認定中級取得、パターンメイキング技術検定2級取得			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションビジネス科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62	17	11	5	53	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		24人	0人	2人	10人	12人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 （1）学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。

(2) 授業計画 (シラバス) をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
(概要) 学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業(進級)の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業(進級)認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
(概要) (1)クラス担任制(2)個別相談・指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)(4)個別相談(5)中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	1人 (%)	3人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等)			
販売職・総合職			
(就職指導内容)			
(1) 求人案内			
(2) 個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
(主な学修成果 (資格・検定等))			
ファッションビジネス能力検定2級取得、ファッション販売能力検定2級取得			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		
①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に		

転科説明)

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専門課程	ファッションデザイン科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	62	12	5	3	66	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		32人	0人	1人	10人	11人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 (1) 学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。 (2) 授業計画(シラバス)をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
(概要) 学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業(進級)の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業(進級)認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
(概要) (1)クラス担任制(2)個別相談・指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)(4)個別相談(5)中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	1人 (%)	5人 (%)	0人 (%)
(主な就職、業界等) CADパタンナー・販売職			

(就職指導内容) (1)求人案内 (2)個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導
(主な学修成果(資格・検定等)) パーソナルカリスト検定2級取得、色彩検定2級取得
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案(③～⑤の間に転科説明)		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		専攻科	ファッションスペシ ヤリスト科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	31	6	2	1	34	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		3人	0人	1人	10人	11人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 授業計画を理事会・評議委員会に上程し、審議を経て実施している。 (1) 学生に対してのヒアリング、ファッション業界の意見も参考に授業計画(シラバス)を作成。 (2) 授業計画(シラバス)をホームページに掲載。
成績評価の基準・方法
(概要) 学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることを学生に公表し、全教科担当者からの成績報告を一覧表に集約し、成績順(総得点による降順)に並べ実態を把握し、結果を本人並びに保護者に通知する。
卒業・進級の認定基準

(概要) 学則に基づき実施する定期考査の得点と、出席状況等を得点化したものを合算し、成績を算出する方法で、全履修科目について合格点を得ることと、学納金完納が確認されていることが卒業(進級)の要件であることを学生並びに保護者に公表し、卒業(進級)認定会議において認定された者が卒業できる。
学修支援等
(概要) (1)クラス担任制(2)個別相談・指導等の対応(担任・学年・校長等カウンセリング)(4)個別相談(5)中途退学防止のための取り組み

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
3人 (100%)	0人 (%)	1人 (%)	2人 (%)
(主な就職、業界等) 販売職			
(就職指導内容) (1)求人案内 (2)個別相談、二者面談、履歴書等書類指導、模擬面接指導			
(主な学修成果(資格・検定等)) 洋裁技術認定上級取得			
(備考)(任意記載事項) 4人在籍、1名卒業不可判定。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ①入学前の情報提供(具体的な専門学校生活を案内)②遅刻・欠席時の担任による事由確認③学生との面談④保護者との相談⑤放課後や長期休暇時の補講の提案		

## ②学校単位の情報

### a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
服装科・ファッションビジネス科・ファッションデザイン科・	160,000円	480,000円	500,000円	その他内訳 入学選考料 10,000円

スタイリスト科				施設維持費 180,000 円 教科書・洋裁用具代 120,000 円 教材費・研修費 190,000 円
ファッションスペシャリスト科	160,000 円	480,000 円	500,000 円	その他内訳 入学選考料 10,000 円 施設維持費 180,000 円 教材費・研修費 190,000 円
修学支援（任意記載事項）				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a>		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
第三者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
(備考)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html">https://www.miyagibunka.ac.jp/info.html</a>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------